

落札結果

業 務 名	西武学園文理高等学校(講堂) 除湿温度保持設備改修工事 実 施 設 計 業 務
契 約 方 式	一 般 競 争 入 札
入 札 公 告 日	平 成 25 年 7 月 9 日
入 札 日	平 成 25 年 7 月 24 日
落 札 金 額	1,100,000 (税抜)
契 約 の 相 手 方	株 式 会 社 桂 設 計 東 京 都 新 宿 区 榎 町 43 - 1 神 楽 坂 ビ ル 4 階

一般競争入札募集要項

防衛省補助事業業務の一般競争入札を下記のとおり行いますので、入札に参加を希望する設計事務所はご参加下さい。

平成25年7月9日

学校法人 文理佐藤学園

記

1 業務内容等

- (1) 業務名 学校法人 文理佐藤学園
西武学園文理高等学校（講堂）除湿温度保持設備改修工事 設計業務
- (2) 業務概要 西武学園文理高等学校（講堂）既設機械設備改修に伴う建築、電気設備、
機械設備設計業務
- (3) 建築概要 構造：鉄筋コンクリート1階建て
規模：建物延べ床面積 約427.04㎡。空調面積 307.5㎡
- (4) 履行期限 平成25年7月25日～平成25年9月12日
- (5) 計画書等 本要項書の資料を参照して下さい。

2 入札日程等

- (1) 入札予定日 別添の入札書（様式1、様式2）により作成し平成25年7月24日午前10時までに持参又は郵送願います。
なお、入札価格は消費税抜き価格とします。
宛先：学校法人 文理佐藤学園 法人本部 総務部
住所：〒350-1332 埼玉県狭山市下奥富695-1 文理総合学習センター
電話：04-2900-3400
- (2) 開札は、平成25年7月24日午前10時より、入札書提出先で公開にて行います。
- (3) 1回目の入札の最低価格が、予定価格を下回らない場合は、2回目の入札を行います。その場合の入札日程については、入札参加者にその旨を連絡し、最初の入札日より3日以内に執行します。入札執行回数は原則2回を限度とします。

3 入札参加事務所に必要な要件

当該業務は防衛省の補助事業業務ですので、下記の要件を公告日の前日において、全てを満たしている事とします。

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条及び第71条の規定に該当しないこと。

- (2) 防衛省装備施設本部長から測量・建設コンサルタント等業務の「建築」に係る一般競争入札（指名競争）参加資格で「A」の格付を受けていること。
- (3) 入札日の前日までに、防衛省北関東防衛局長から「工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（通達）」に基づく指名停止を受けていないこと。
- (4) 建築士法に基づく1級建築事務所登録を有すること。
- (5) 平成6年度以降に元請として、構造が鉄筋コンクリート造で、規模が建物延べ床面積3,000㎡以上の新設または改修に係る建築設計業務の内、防衛省発注業務または防衛省補助金事業（以下「同種業務」という）を履行した実績を有すること。
- (6) 次に示す技術者を当該業務に配置できること。
 - ・ 一級建築士
 - ・ 設備設計一級建築士
- (7) 当該業務に係る設計JVは認めない。
- (8) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

4 入札参加表明書の提出

上記3に該当する設計事務所で、当該業務の一般競争入札に参加を希望する者は、参加表明書（様式3）を作成し、上記3の（2）の参加資格の格付のコピーを平成25年7月16日午前10時までに持参又は郵送願います。

期日までに参加表明書を提出した者のみを入札参加者とします。

参加表明書の提出先は上記2（1）に同じです。

以上

(様式1)

入 札 書

平成 年 月 日

〇 〇 〇 〇 殿

住 所

会 社 名

代表者氏名

㊟

(又は代理人、復代理人氏名)

㊟

下記のとおり入札します。

記

1 入札件名

2 数 量 一式

3 入札金額 ¥
(税抜き価格)

(様式 2)

裏

封筒の記入方法

入札書は、四つ折りにして封筒に入れる。

↑糊づけ封印

印

東京都〇〇区〇〇〇一 二三

〇〇〇〇〇株式会社

表

学校法人 文理佐藤学園 法人本部 総務部 殿

西武学園文理高等学校(講堂)除湿温度保持設備改修工事 設計業務

朱書き↓入札書在中

参加表明書

(業務名) 西武学園文理高等学校(講堂)除湿温度保持設備改修工事 設計業務

標記業務の一般競争入札に基づく選定の参加について関心がありますので、
参加表明書を提出します。

平成22年 月 日

学校法人 文理佐藤学園

法人本部 総務部 様

(提出者)

住 所 :

会 社 名 :

代 表 者 氏 名 :

印

担 当 者 氏 名 :

担 当 者 所 属 部 署 :

電 話 番 号 :

フ ァ ッ ク ス 番 号 :

西武学園文理高等学校（講堂）防音改修工事

空調設備基本計画書

学校法人 文理佐藤学園

1. 計画趣旨

- ① 既設建物の空調設備の設置は、平成6年12月竣工の除湿温度保持工事として設置され現在に到っている。経過年は18年であり、熱源機器類の能力低下、配管類の錆、循環ポンプ類の劣化、空調機冷温水コイルの能力の低下・進行などが見受けられる為、更新を行うものとして計画した。
- ② 既設の熱源システムは、冷熱源はガス吸収式冷温水発生機〈30usRT×1台〉、全熱交換器組み込み空気調和機〈11,940m³/H×1台〉、冷却塔、冷却水ポンプ、冷温水ポンプ、密閉膨張タンク等からなり、室内システムは、空気調和機による単一ダクト方式となっております。
- ③ 現地施設管理からは、冷暖房の切替の簡素化、近年の環境悪化のため冷却水の水質管理の無いシステムへの更新を強く要望された。
〈現在他の施設は、防音対策により、高等学校、中学校、小学校は全てガスによる空冷ヒートポンプ方式となっている。〉

2. 各論

■空調設備工事

- ① 熱源システムは、ガス空冷ヒートポンプチラー〈25Ps相当×2台〉設置して、冷却水の維持管理から解放した計画とした。
- ② 既設講堂は大空間となるため、既存の空気調和機と単一ダクト方式を再利用した形で更新する。
- ③ なお、既設空調機の冷温水コイルは錆・劣化が進行しているため交換する。又機器の全体調整を実施し再使用する。
- ④ 冷温水ポンプ、密閉式膨張水槽、冷温水配管等は全て更新する計画である。

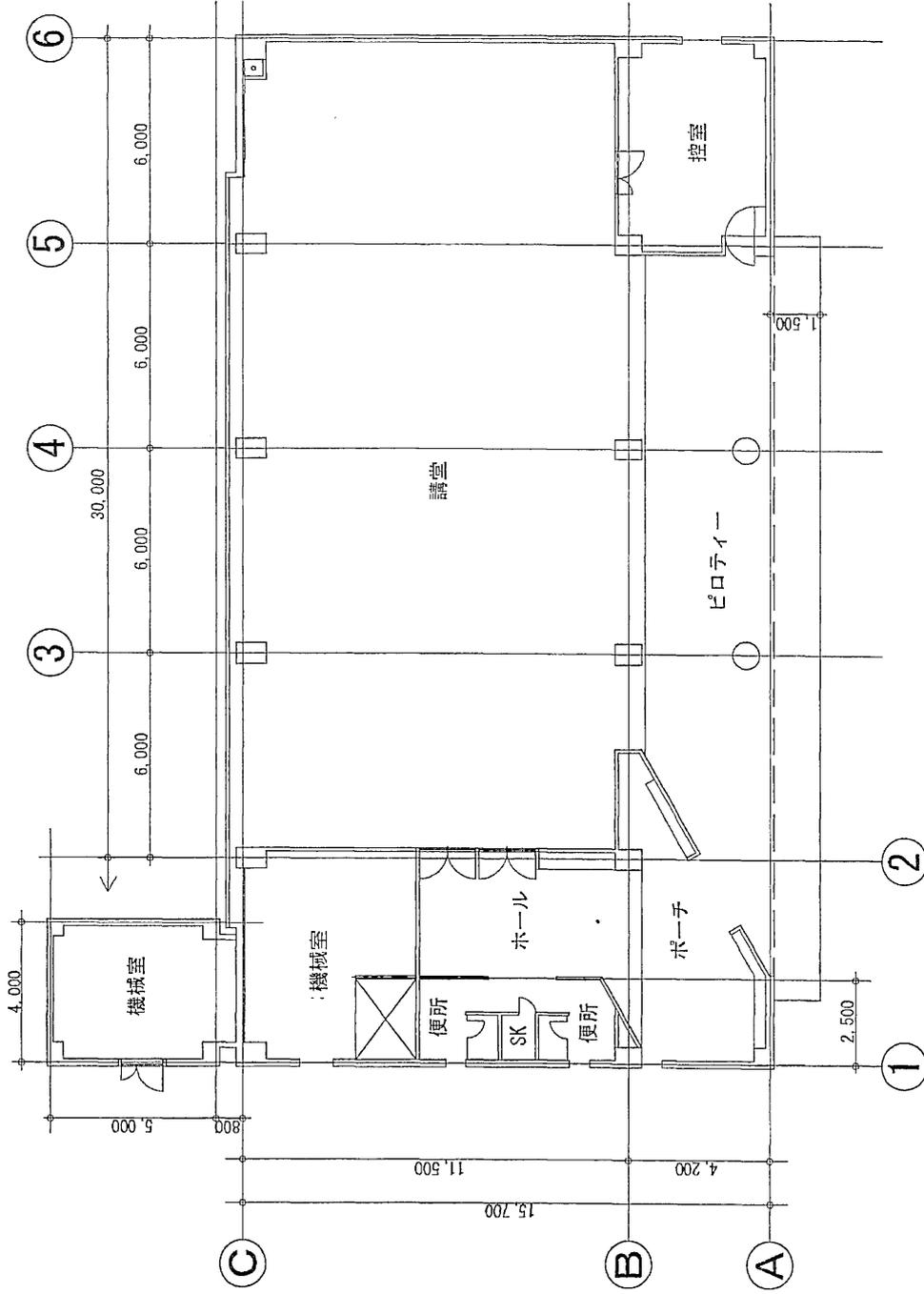
■建築工事

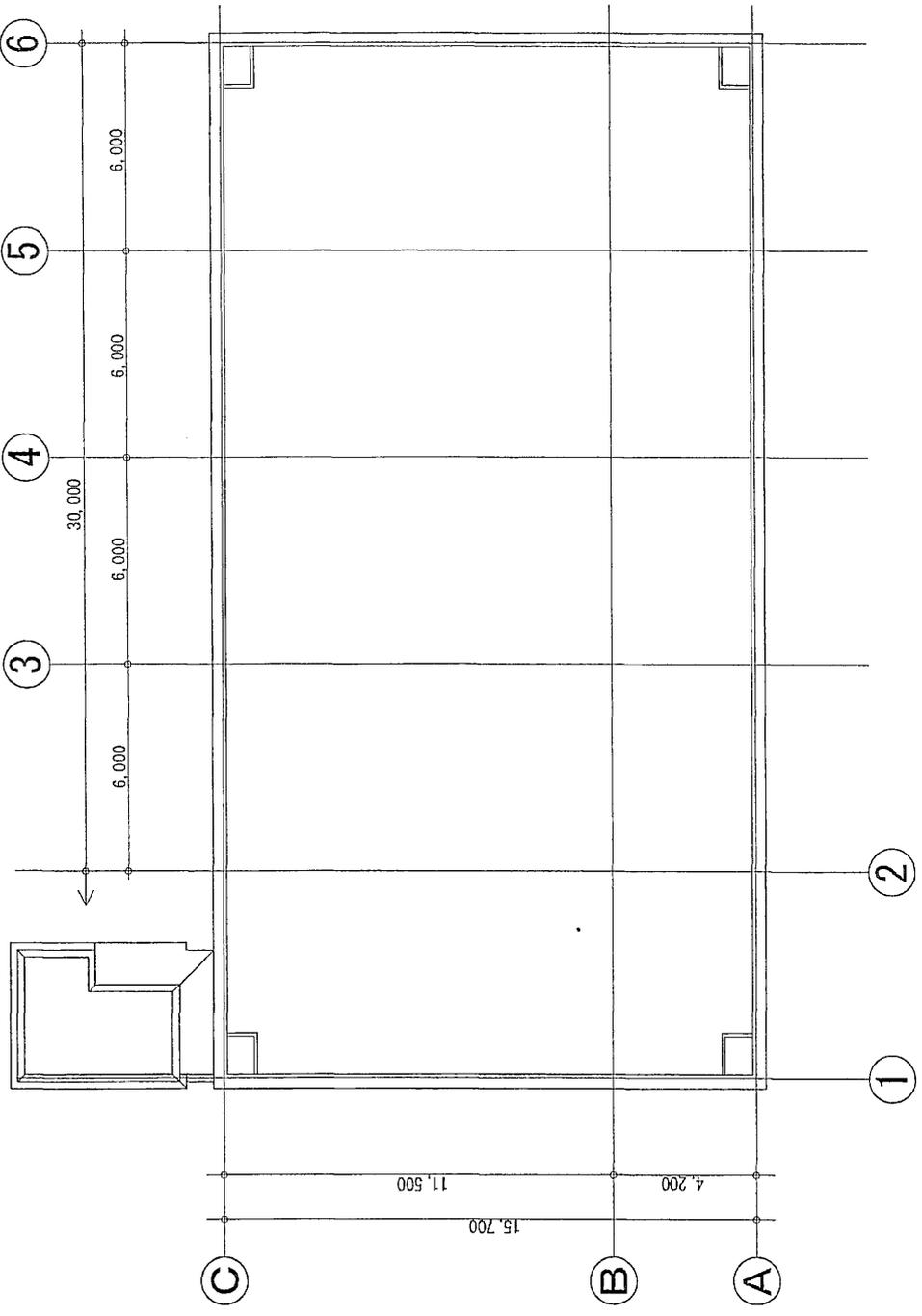
- ① 既設機械室屋上の冷却塔、配管類の撤去と、新たなガス空冷ヒートポンプチラーの設置に伴い屋上の防水及び機械基礎の撤去新設工事の対応を行う。
- ② 既設煙突の穴ふさぎ工事を行う。
- ③ 既設機械室の既存機器の撤去に伴う現況復旧工事の対応を行う。

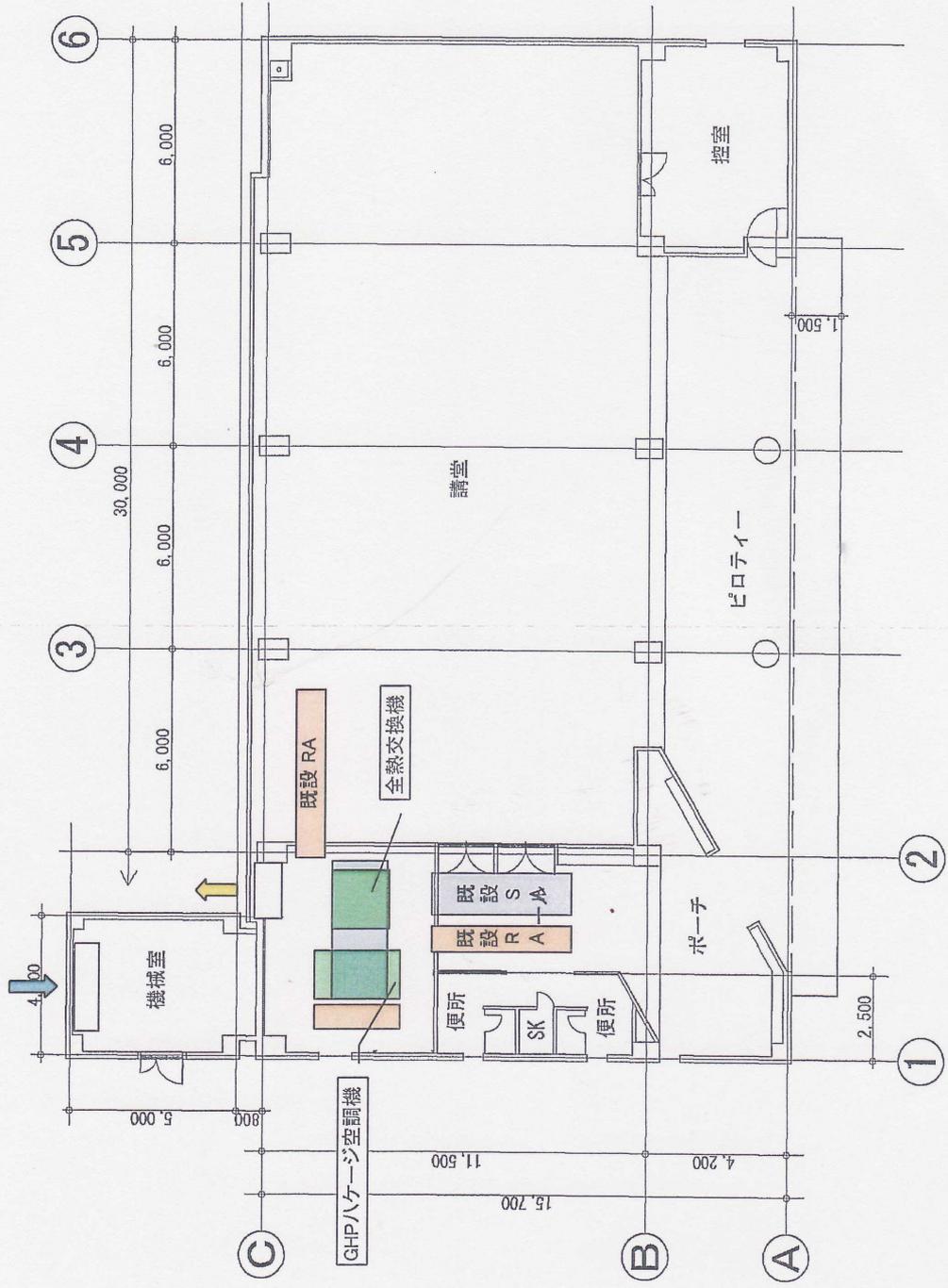
■電気設備工事

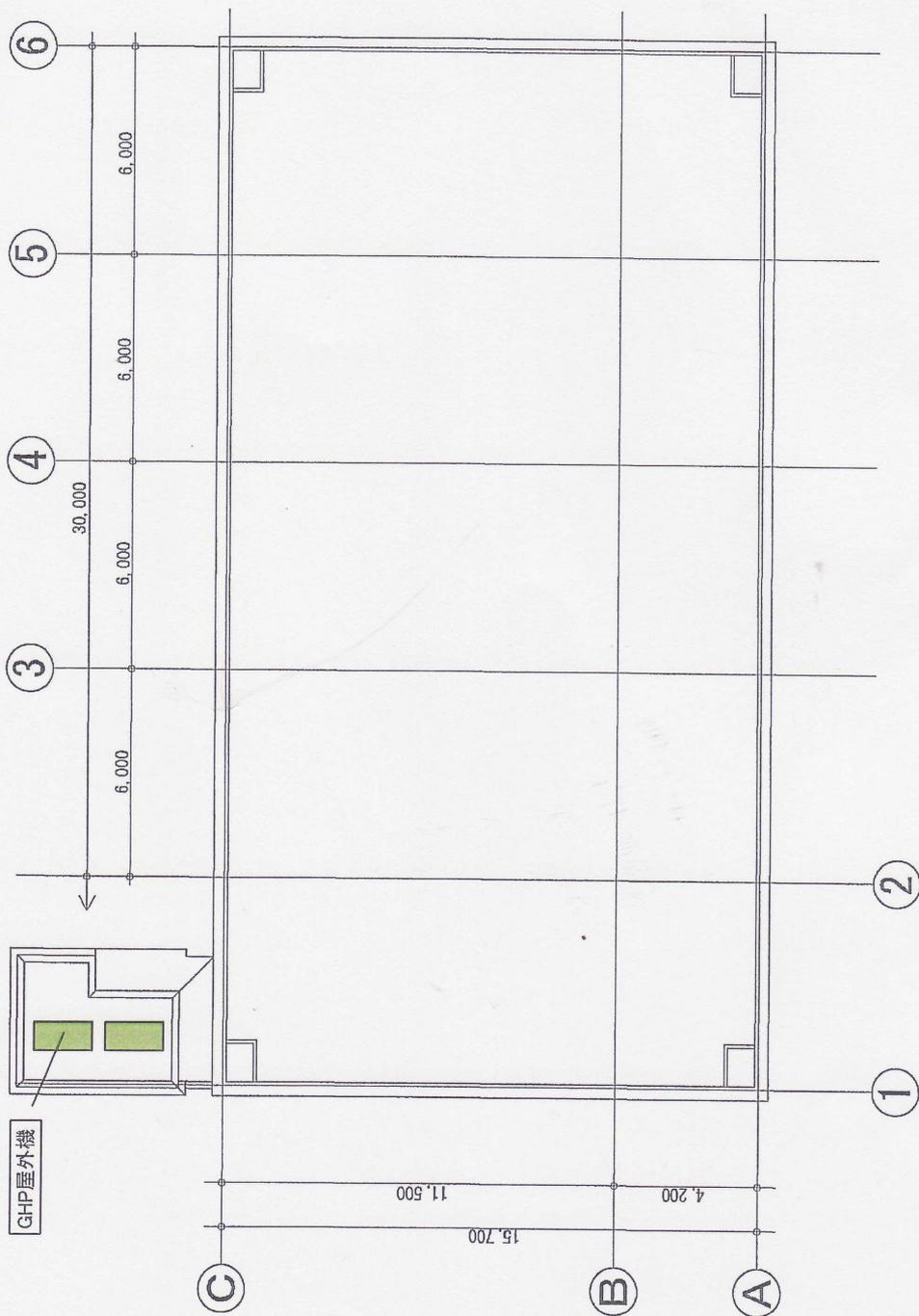
- ① 既設機器の撤去に伴う、冷温水機用配管配線、冷却塔用配管配線、薬注機用配管配線、冷却水ポンプ・冷温水ポンプ用配管配線の処理を行う。
- ② 新たに、ガス空冷ヒートポンプチラーへの電源供給、新設冷温水ポンプへの電源供給を行う。
- ③ 電気容量の縮減に伴う、動力盤等の改修を行う。

以上



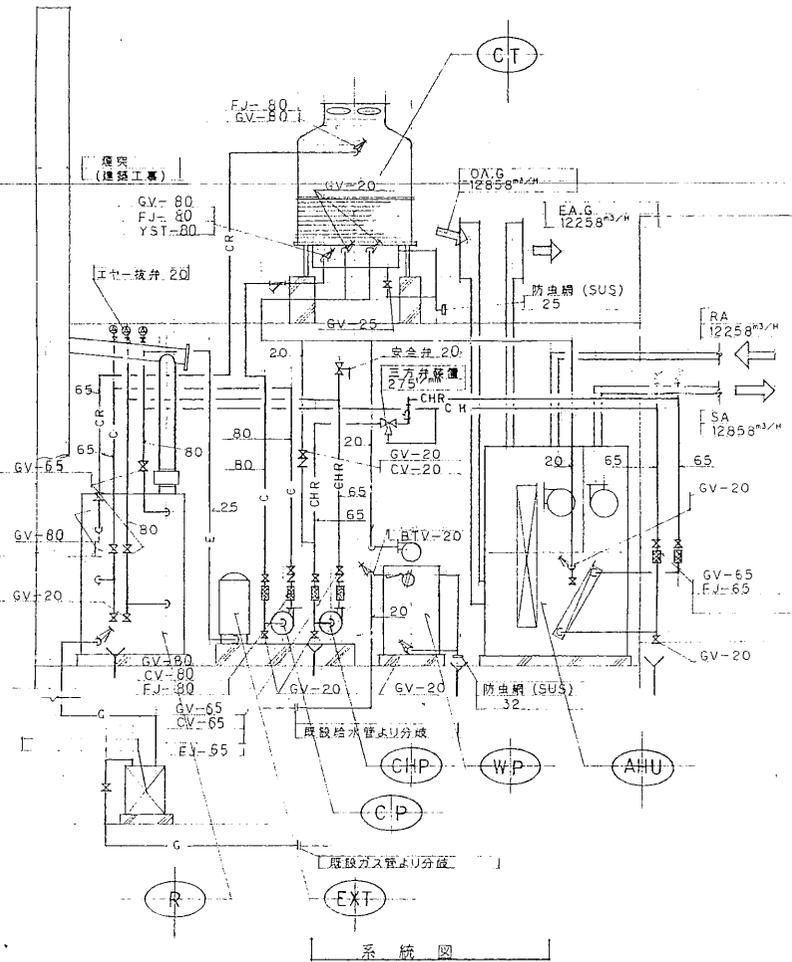


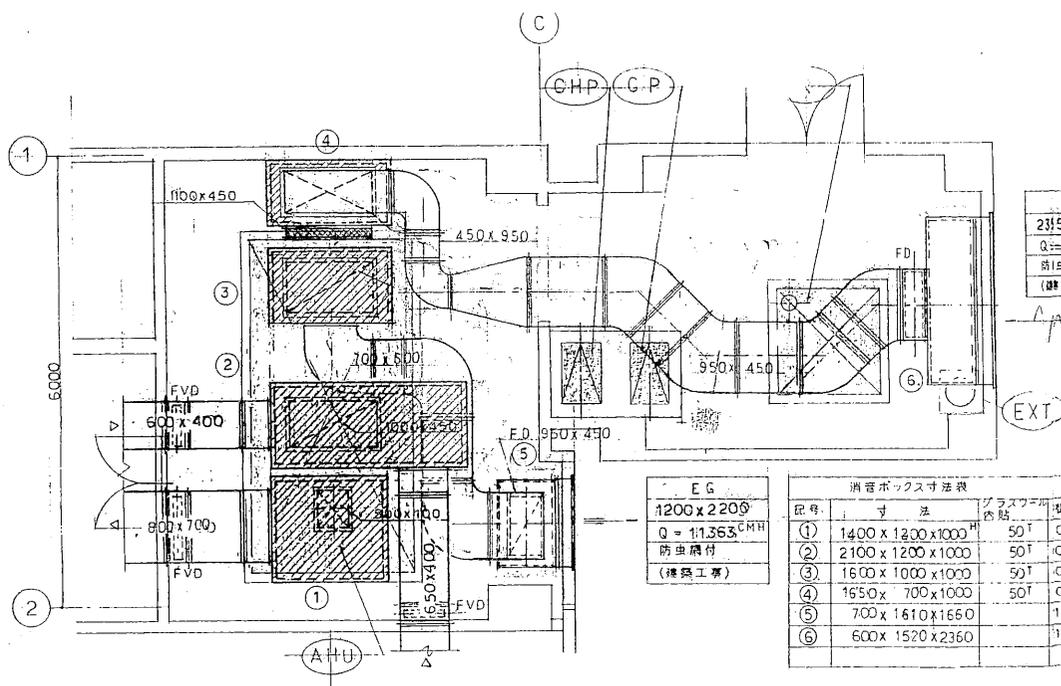




機 器 表

記号	機 器 名	数	仕 様	電 源
(R)	冷 温 水 機	1	ガス戻 二重効用吸収式 呼称 26 ^{05A1} 冷房能力 78110 ^{kcal/h} 暖房能力 59180 ^{kcal/h} ガス消費量 88940 ^{kcal/h} 冷温水量 275.0 ^{m³/h} 冷水 7.0~12.5℃ 温水 55.0~48.4℃ 冷却水量 458.0 ^{m³/h} 38.0~32.0℃ 電子式コントロールボックス 感震スイッチ 凍結防止リレー コンクリート基礎 150 ⁰ (建築工事)	3相×200 ⁰ ×1.2 ⁰
(CT)	冷 却 塔	1	カウンターフロー型 (丸型) 超低騒音型 二重効用吸収冷温水機用 呼称 30 ⁰ 冷却能力 164500 ^{kcal/h} 冷却水 458.0 ^{m³/h} 38.0~32.0℃DB 27.0℃WB 自動ブロー装置 高液注入装置 (自動制御回路付) コンクリート基礎 600 ⁰ (建築工事)	3相×200 ⁰ ×600 ⁰
(CHP)	冷 温 水 ポンプ	1	渦巻型 口径 50 ⁰ 水量 275 ^{m³/h} 揚程 31.0 ^m ゴム型防振装置 圧力計 コンクリート基礎 300 ⁰ (建築工事)	3相×200 ⁰ ×3.7 ⁰
(CIP)	冷 却 水 ポンプ	1	渦巻型 口径 65 ⁰ 水量 458 ^{m³/h} 揚程 17.0 ^m ゴム型防振装置 圧力計 コンクリート基礎 300 ⁰ (建築工事)	3相×200 ⁰ ×3.7 ⁰
(EXT)	防 漏 タンク	1	ダイヤフラム型 密閉式 空気容量 6 ^l 最大貯蔵容量 33 ^l 外形寸法 400 ⁰ ×62 ⁰ 最高使用圧力 4.0 ^{kg/cm²} 溶解性 圧力計	
(AHU)	空 調 機	1	システムユニット型 送風量 11940 ^{m³/h} 機外静圧 42.0 ^{mmAq} 排風機 11940 ^{m³/h} 機外静圧 40.0 ^{mmAq} 冷房水 32 ^{l/s} B別 (7.0~12.5℃, 55.0~48.4℃) 冷房能力 78110 ^{kcal/h} 空気温度 28.1℃DB, 20.8℃WB~14.4℃DB, 13.4℃WB 暖房能力 59180 ^{kcal/h} 空気温度 16.8℃DB, 11.7℃WB~37.6℃DB, 19.0℃WB 加湿器 142.0 ^{m³/h} (有効) 全周交換機 (回転式) (OA: 8270 ^{m³/h} EX: 8270 ^{m³/h}) フィルター (比色法 65%) (別紙詳細参照)	3相×200 ⁰ 送風機 11.0 ^{kW} 排風機 7.5 ^{kW} 3 ^φ ×200 ⁰ 機外 0.2 ^{kW} 単相×200 ⁰ 加湿器 0.2 ^{kW}
(EF)	圧 力 計	1	低騒音型 口径径 250 ⁰ 口径 500 ^{mm} 静圧 5.0 ^{mmAq}	単相×100 ⁰ ×25 ⁰
(WP)	加 圧 ポ ンプ	1	常水量 50 ⁰ ポンプ口径 20 ⁰ 水量 15 ^{m³/h} 圧力 (起動) 1.4 ^{kg/cm²} 停止 2.0 ^{kg/cm²} 自動ポンプ コンクリート基礎 150 ⁰ (建築工事)	単相×100 ⁰ ×130 ⁰



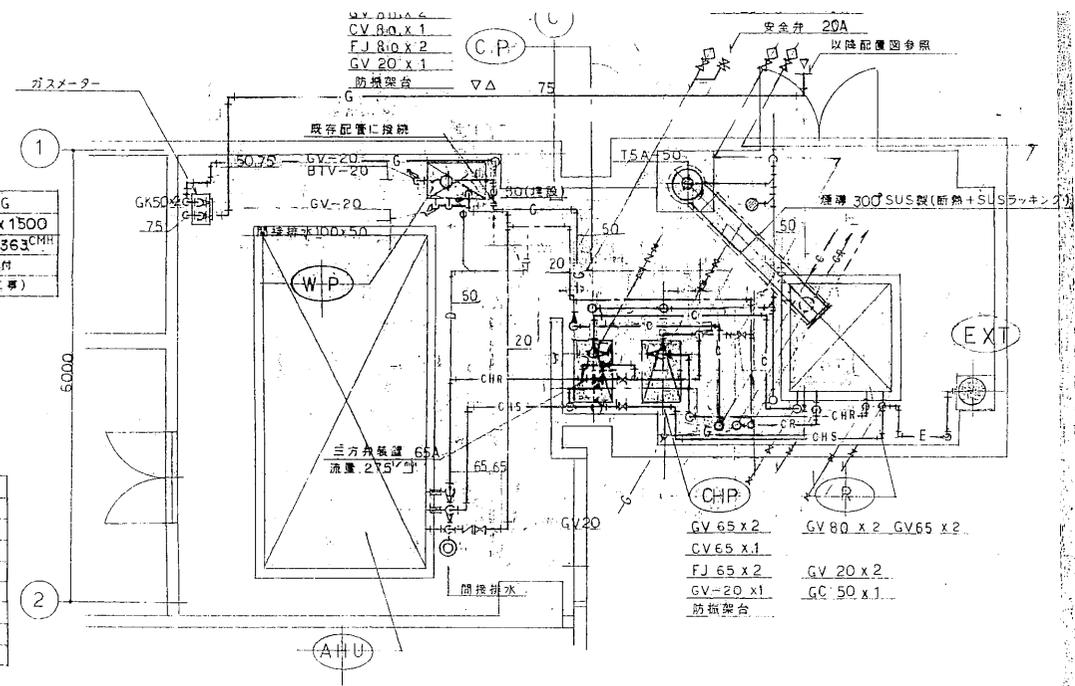


機械室平面詳細図(ダクト) S=1/50

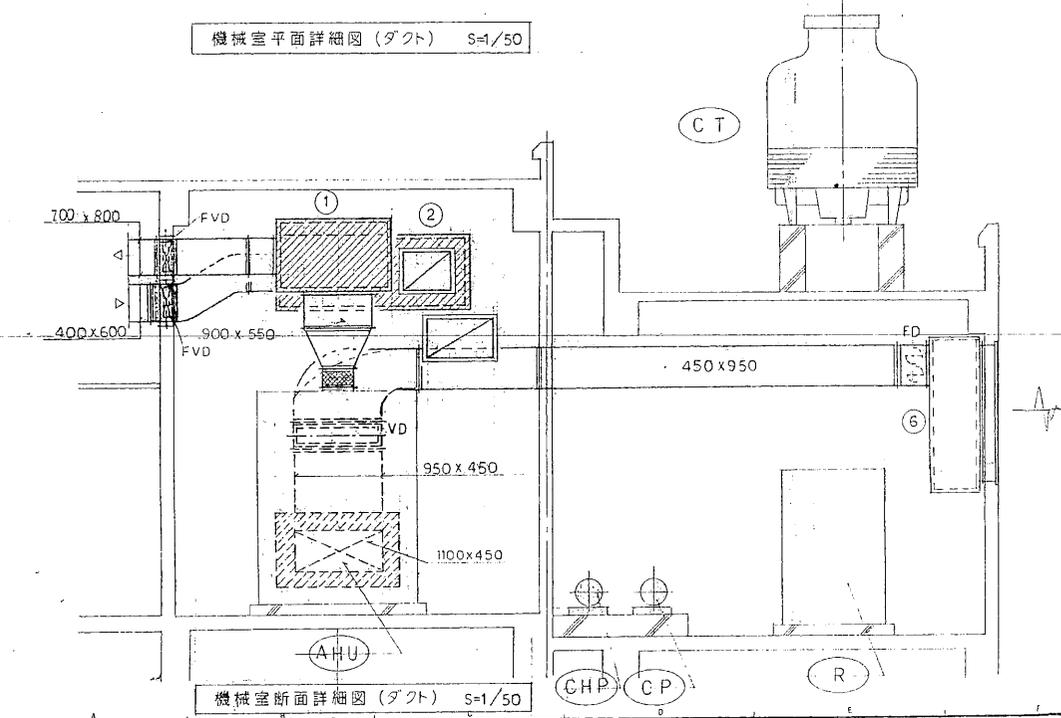
0 G
23150 x 1500
Q = 11363 CMH
防虫網付
(建築工事)

E.G
1200 x 2200
Q = 11363 CMH
防虫網付
(建築工事)

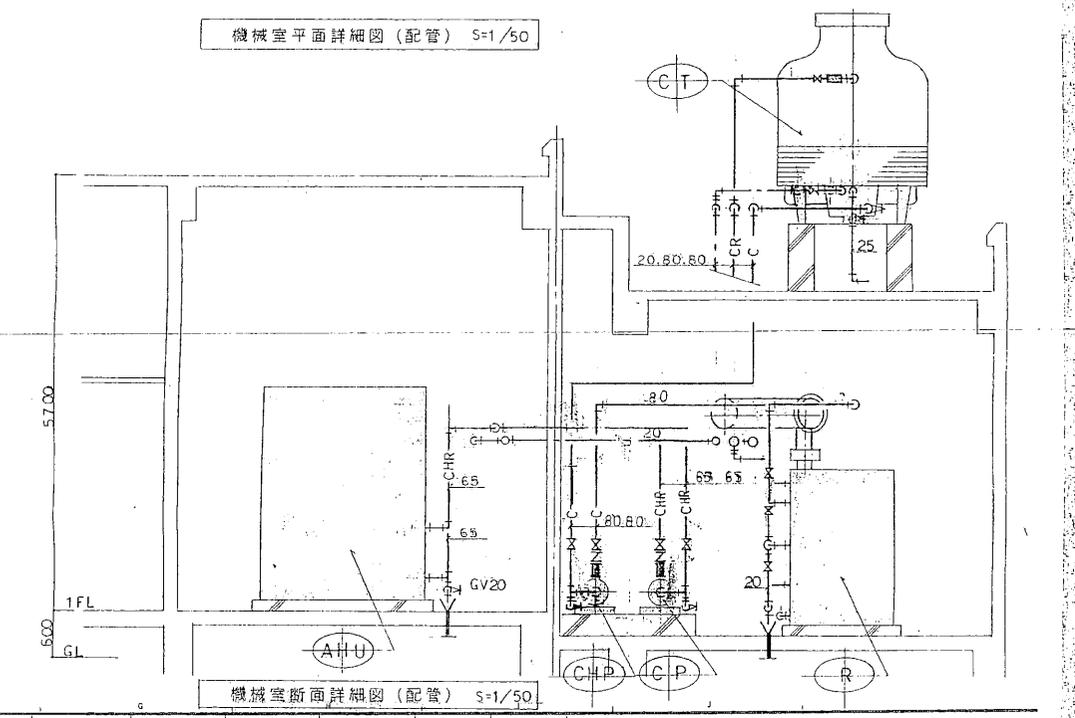
消音ボックス寸法表			
記号	寸法	ガラス繊維 内径	板厚
①	1400 x 1200 x 1000	50T	0.8"
②	2100 x 1200 x 1000	50T	0.8"
③	1600 x 1000 x 1000	50T	0.8"
④	1650 x 700 x 1000	50T	0.8"
⑤	700 x 1610 x 1660		1.6"
⑥	600 x 1520 x 2360		1.6"



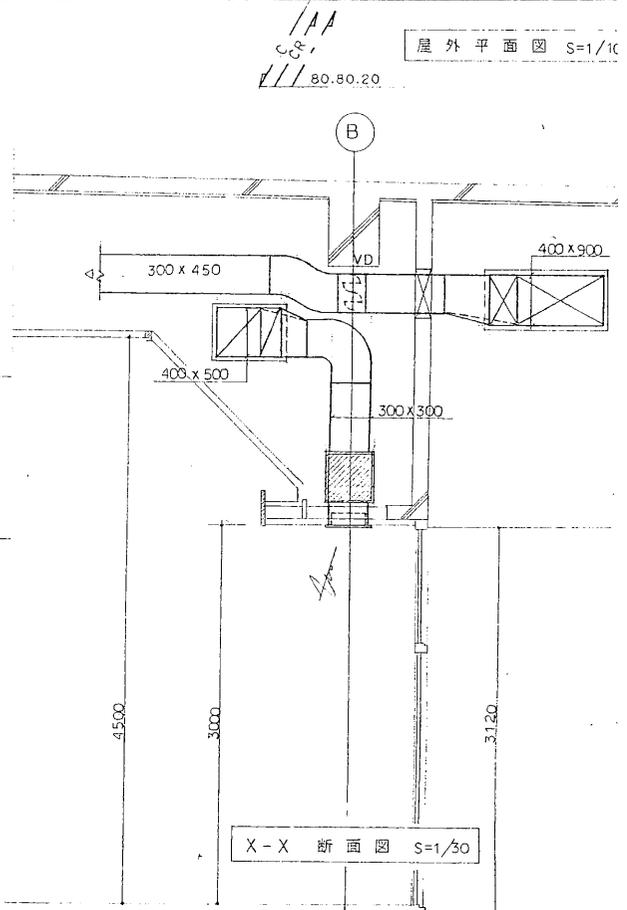
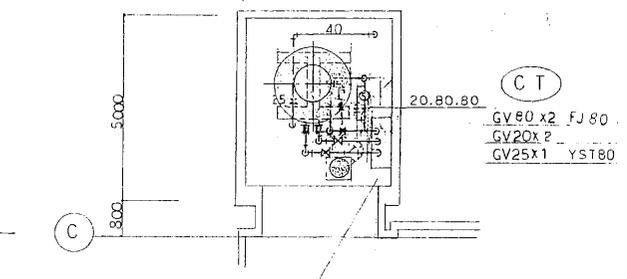
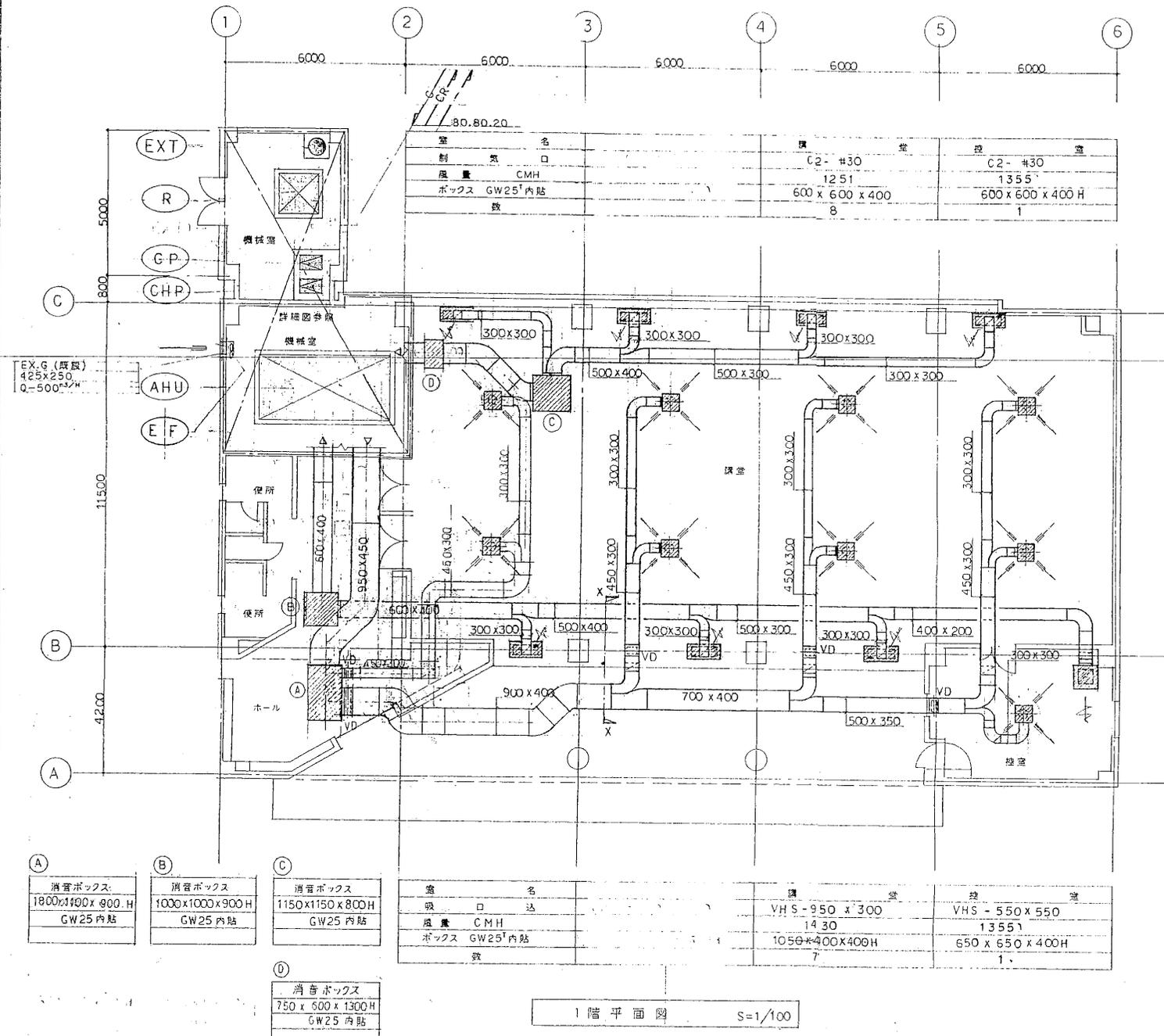
機械室平面詳細図(配管) S=1/50



機械室断面詳細図(ダクト) S=1/50



機械室断面詳細図(配管) S=1/50



1階平面図 S=1/100

X-X 断面図 S=1/30